

2013年3月 吉日

公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟

会長 松田 昌士 殿

理事長 野口 昇 殿

全国的青年連絡組織

会長 松浦 慎(奈良ユネスコ協会)

全国的青年連絡組織第3回通常総会のご報告とご提案

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より青年ユネスコ活動に関し、格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

去る2013年2月11日、愛知県名古屋市にて全国的青年連絡組織「第3回通常総会」を会員31名(委任状103通)の参加を得て、開催いたしました。会では、事業報告、事業計画、予算(案)の審議を行うと共に下記の件について、議論を行いました。

つきましては、下記の3点を日本ユネスコ協会連盟の皆様へご提案させていただきたいと考えます。ご検討の程、宜しく願いいたします。

敬具

記

構成団体会員における青年の活動(以下、青年活動)は、民間ユネスコ運動の発展を目指すうえで重要であり、青年活動の継続・発展は必要不可欠なものと認識しています。現在、各地ユ協等で活動する青年層は、各地域や全国的な各種活動を通じて人的交流をはかり、外部からも魅力を感じられる活動をすべく、日々の活動を推進しています。しかし、我々は青年活動を発展させていく上で困難な問題を抱えており、以下のように提言します。

■青年予算への十分な配慮を

青年活動の発展のためには、新規の青年会員を獲得する活動や、次世代の担い手を育成する活動等を継続的かつ効果的に行っていく必要があります。しかし、青年活動に関する予算状況は、厳しいものであり、現状の活動を維持するにも十分ではありません。予算への十分な配慮を求めます。

■ユースセミナーの再開を

これまでユースセミナーは、多くの青少年会員を輩出し、青年活動、さらには民間ユネスコ運動の発展に寄与してきました。しかし、2010年度以降は開催されていないため、ユースセミナーの再開を強く要望します。

■事業策定に青年の意見を

我々は、日本ユネスコ協会連盟と共に青少年に関する事業を発展させていくために、積極的に歩調をあわせていく努力を行いたいと考えています。しかし、ユネスコ子どもキャンプなどをはじめとする各種事業方針においては、必ずしも現場で活動する地域の青年のニーズと活動実態に則していないことも多数あり、より効果的に実践できる活動の可能性を狭めています。特に、青少年に関連する新規事業(ESD パスポート等)や既存事業の見直しについては、現場で活動する青年の意見を無視した事業策定を行わないことを要望します。

上記内容について、このような結論に至った経緯や、具体的な方法案などをご説明させていただく機会をいただければ幸いです。よろしくお願いたします。

以上